

投資家の皆様へ

2008年3月期 中間決算説明

— 目 次 —

1. 経営の基本方針
2. 利益配分に関する基本方針
3. 主要な事業内容
4. 経営課題への取り組み
5. 2008年3月期中間決算財務諸表

証券コード 9852

CBC
CHUO BUSSAN
CORPORATION

中央物産株式会社

1. 経営の基本方針

中央物産グループは、これまで築き上げた長年の信用と資産を有効に活用し、事業の多角化と、各事業間の相乗効果により、時代の変化にも柔軟に対応し、永続的な事業価値の向上を可能にする企業グループを目指しております。

2. 利益配分に関する基本方針

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要施策として位置付け、常に経営基盤の強化及び将来の事業展開に備えるための内部留保につとめ、業績に応じた利益還元を安定的かつ継続的に行うことを基本方針としております。

平成19年12月19日に「事業上の固定資産の譲渡」（本社所在の土地）により特別利益が発生したことに伴い、当事業年度末（平成20年3月期末）に普通配当8円に80円の特別配当を加えた88円の期末配当をさせていただくことを決定いたしました。

※88円の期末配当は、平成20年1月17日当社取締役会にて決議、公表済みであります。

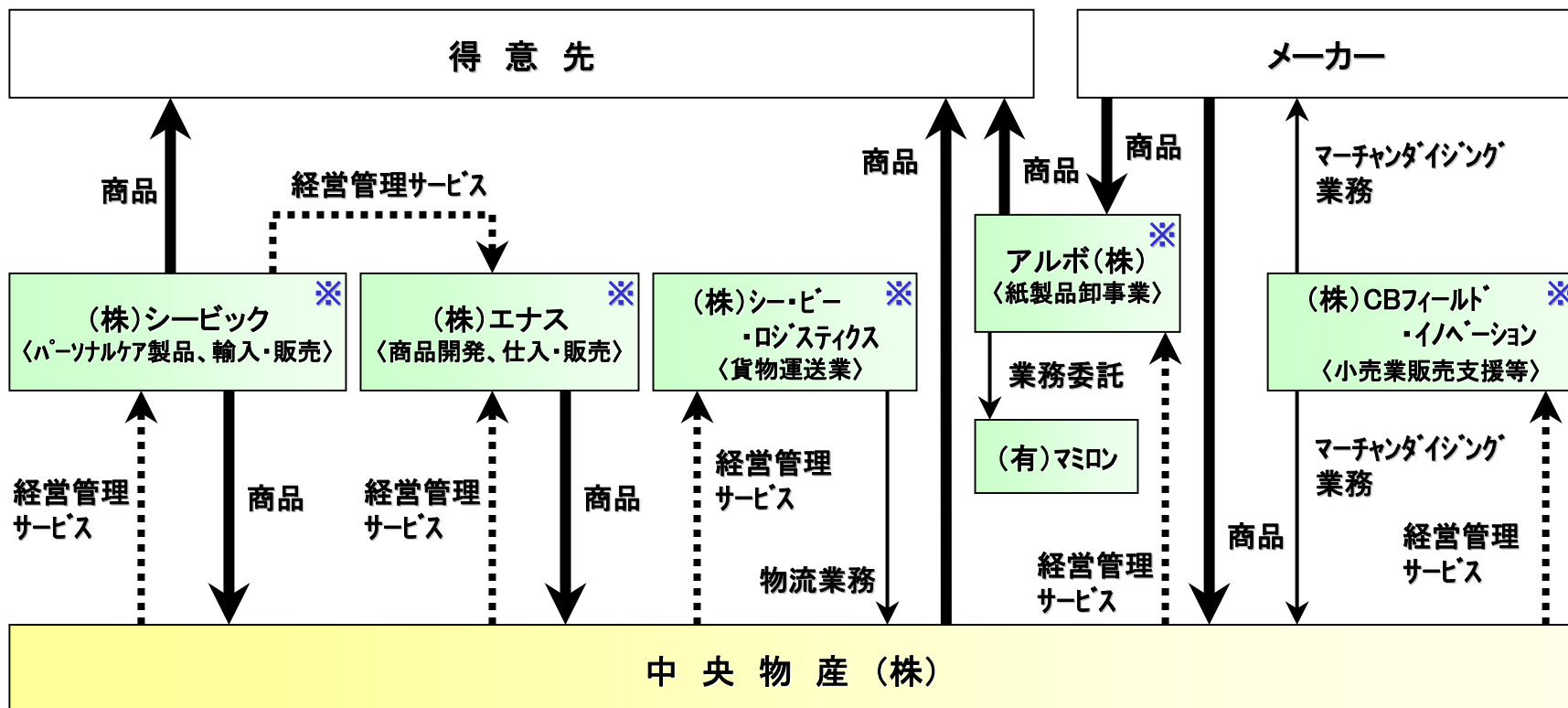
3. 主要な事業内容

当社企業集団は、当社子会社を含め、主に化粧品・日用雑貨などお客様に価値ある商品とサービスを提供し、ヘルス&ビューティーの分野において消費者に快適な生活を営んでいただくための、お手伝いをすることを使命に事業活動を展開しております。

当社は、化粧品・日用雑貨・医療衛生用品などの生活関連用品を、主に国内のメーカーから仕入れて、首都圏を中心に関西および東海地区の量販店・百貨店・有力卸店・専門店などへの卸売を業務としている日用雑貨事業です。近年では、北海道・東北・九州エリアの小売業への卸売業務も増加する傾向にあります。

<中央物産グループ事業系統図>

－平成19年9月末現在－



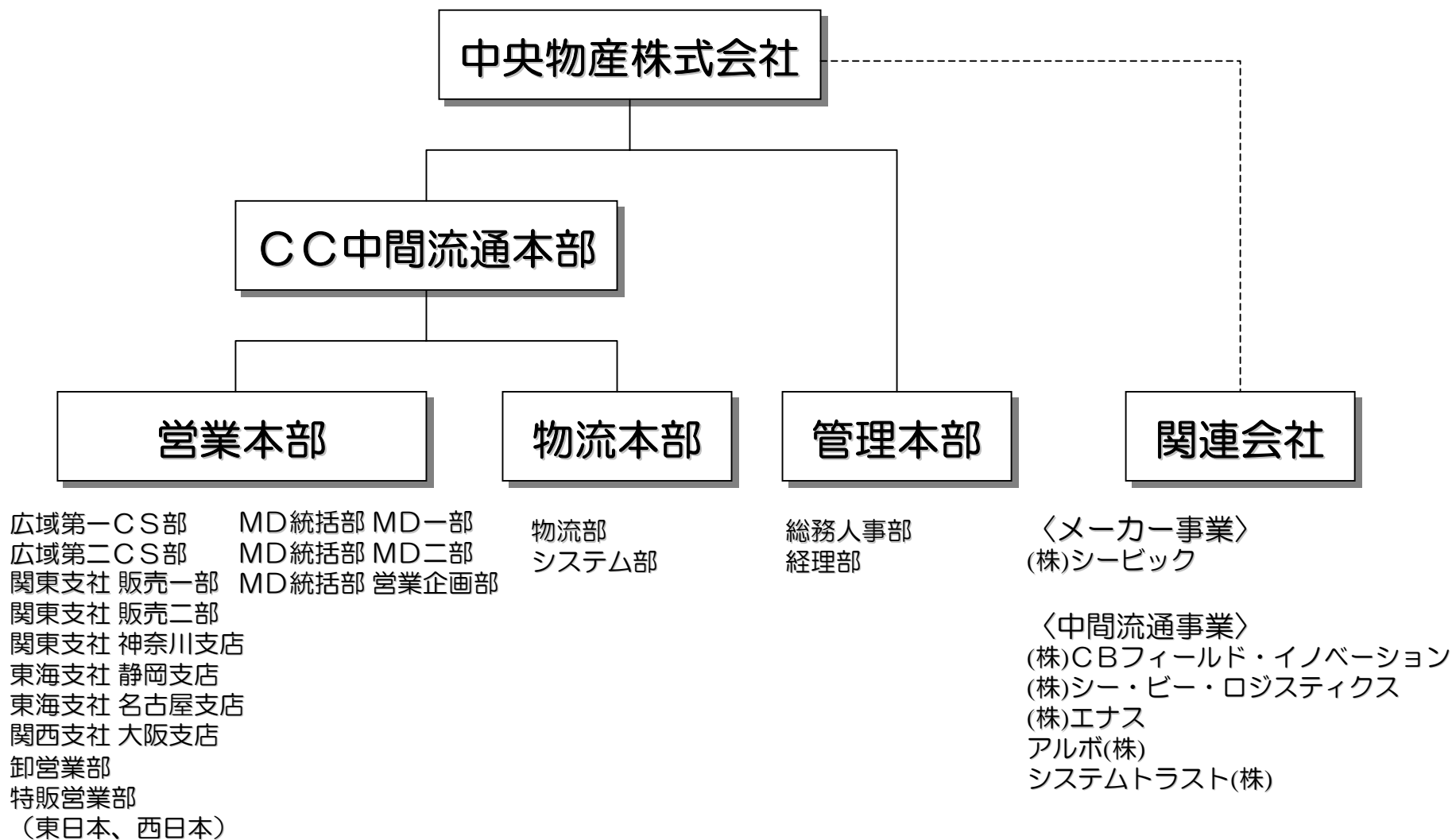
※は連結子会社であります。

－M&Aに関する2008年3月期下期後発事象(公表済み)－

1. 2007年10月1日、株式譲受により株式会社システムトラスト(紙製品卸事業)を子会社化(連結対象)しております。
2. 2008年 3月1日、連結子会社株式会社シー・ビー・ロジスティクス(貨物運送業)を吸収合併(簡易合併)しております。
3. 2008年 4月1日、株式取得により株式会社五色屋(紙製品卸事業)を子会社化する予定であります。(基本合意)

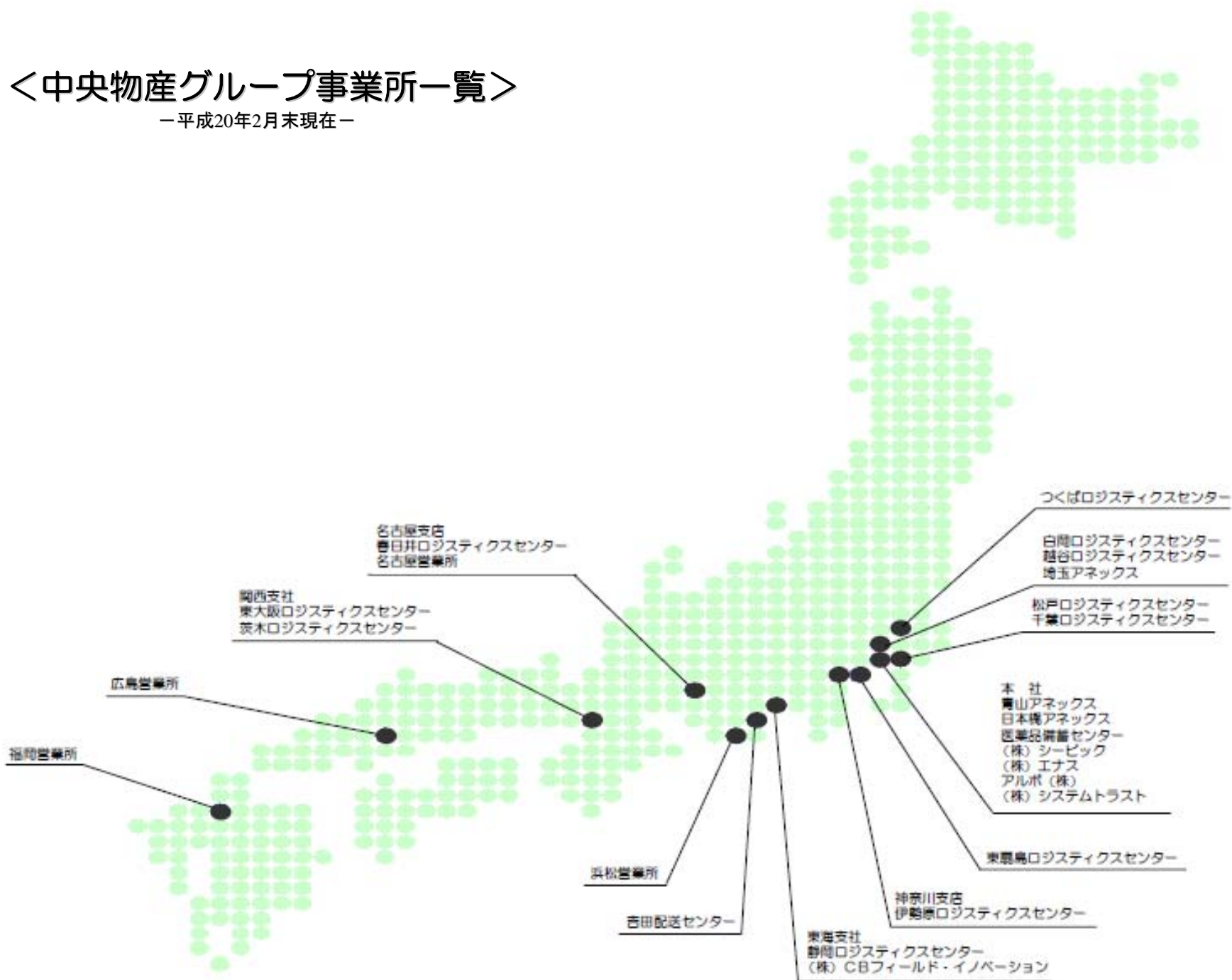
<中央物産グループ組織図>

—平成20年2月末現在—



<中央物産グループ事業所一覧>

—平成20年2月末現在—



<株式会社シービックのご紹介>

CBIC 株式会社 シービック

(事業内容)

国際的なパーソナルケア製品の製造、輸入、商品企画および販売を営んでおります。

(沿革)

中央物産株式会社のメーカー部門の中央ホームプロダクツ事業部と、子会社（合併会社）メイベリン株式会社を合併し、平成3年10月16日に中央物産株式会社100%出資のメーカー部門の子会社として設立し、平成4年1月1日より営業を開始いたしました。

(所在地)

〒107-8545 東京都港区南青山2-5-17
TEL 03 (5414) 0777 FAX 03 (5414) 2861

(主要な販売ブランド)



L'ASIATICA
L'ESTHÉTIQUE RÉPARATRICE
FRANÇAISE

Gamila Secret

IVORY

クアラシル
Clearasil

Veet
feel désirable

DeoNatuille
デオナチュレ

Natures Nature

SS33

Re80

KIWI
SINCE 1986

4. 経営課題への取り組み

当社グループは、以下の事項に積極的に取り組み、企業としての社会的責任を果たしつつ、株主価値を高める高収益体質への改善に努めてまいります。

① キャッシュフロー経営への変革

青山に保有していた本社不動産（土地建物）の売却を計画し、オフバランス化による『キャッシュフロー経営』への変革を推進いたします。今後、当社はこの投資余力を背景に、財務体質の改善、競争力を誇る中間流通機能の実現、または、規模拡大のためのM&Aを実行するなどの企業価値を高める経営活動、つまり、「コア事業（中間流通業）」にあらゆる資源を集中投下して、株主価値を最大化させるための経営を推進・継続してまいります。

※平成19年12月19日、上記本社不動産の売却が完了、公表済みであります。

② 効率的経営体制の構築による収益性の向上

地域ごとに「営業、受注・発注と物流」の一括マネージメントを可能にする支社体制を導入し、地域ごとのお得意先様のニーズを的確に把握し、最適な品揃えの提供、在庫回転日数の改善、物流機能におけるハイクオリティとローコストオペレーションなどを同時に実現してまいります。また、今後も効率的経営体制の構築により収益性の向上に努めてまいります。

【伊勢原ロジスティクスセンター】



③ 地域対応機能の強化

平成19年4月より、アケボノ物産株式会社の事業継承により、高い信頼と歴史を誇る同社の関西地区事業に、当社の関西地区事業を合体させ、併せて、首都圏で培ってきたノウハウを注入することにより「地域特性に対応した」中間流通機能を更に強化してまいりました。今後も「東名阪」市場における中間流通業としての確固たる地位を築き上げてまいります。また、両社の重複機能の統合などにより、更に一層のローコスト体制に改善してまいります。

④ マーチャンダイジング機能の強化

平成19年4月より、首都圏有力紙製品卸であるアルボ株式会社が子会社として傘下に加わり、既存のカテゴリーに「紙製品カテゴリー」が加わったことで、当社が提唱してまいりました「カテゴリーコントラクター」としての品揃えが更に強化されました。

今後も他業種のカテゴリーも視野に入れ、積極的な拡充を図り、小売業様との取り組み強化を推進してまいります。

⑤ カテゴリーマネージメント機能の強化

「カテゴリーコントラクター」機能のさらなる強化のために、全営業社員のパソコンに搭載した“営業の提案力をサポートする営業支援モバイルシステム”であるC-CAP（Chuo-bussanCategory Analysis Program）を活用した、「カテゴリーマネージメント提案能力」の全社平準化を実施してまいりました。また、この「カテゴリーマネージメント」の専門性を更に高めるための教育活動を継続し、営業活動の武器にしてまいります、

併せて、前期より導入いたしました「TV会議システム」をフル活用することにより、これらの提案活動の「成功事例」を瞬時に具体的に営業社員全員に伝達し、小売業様のお役に立てる情報共有を進めることで、お得意先様の収益向上に貢献する営業力の強化に努めております。

<MDスタジアム>

MDスタジアムは、弊社が掲げる“新中間流通業「カテゴリー・コントラクター」”提唱の一環として、得意先小売店様に貢献できるマーチャンドライジング機能を体験していただく場所です。『鮮度・意外性・期待感』をコンセプトに、実際に商品を手に取ってもらい『新しい切り口』『旬』を体感してもらうと同時に、「C-CAP」システムをもとにしたマーチャンドライジング提案と得意先小売店様との取り組みの場として有効的に活用されております。



インポート提案、カテゴリー提案等のほか、様々な切り口から中央物産独自のマーチャンドライジングを提案いたします。



5. 2008年3月期中間決算財務諸表

①貸借対照表（連結）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間末 （平成18年9月30日）		当中間連結会計期間末 （平成19年9月30日）		前連結会計年度 要約連結貸借対照表 （平成19年3月31日）	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
（資産の部）						
I 流動資産	20,331,747	58.6%	24,744,580	61.2%	19,947,047	58.1%
II 固定資産	14,341,706	41.3%	15,665,488	38.7%	14,345,316	41.8%
III 繰延資産	22,512	0.1%	23,348	0.1%	18,760	0.1%
資産合計	34,695,965	100.0%	40,433,416	100.0%	34,311,123	100.0%
（負債の部）						
I 流動負債	22,290,538	64.2%	28,834,027	71.3%	22,707,812	66.2%
II 固定負債	4,507,787	13.0%	4,039,332	10.0%	3,860,019	11.3%
負債合計	26,798,325	77.2%	32,873,359	81.3%	26,567,831	77.4%
（純資産の部）						
I 株主資本	7,342,765	21.2%	7,212,127	17.8%	7,203,557	21.0%
II 評価・換算差額等	554,875	1.6%	347,930	0.9%	539,734	1.6%
純資産合計	7,897,640	22.8%	7,560,057	18.7%	7,743,291	22.6%
負債純資産合計	34,695,965	100.0%	40,433,416	100.0%	34,311,123	100.0%

②損益計算書（連結）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 平成18年4月1日 至 平成18年9月30日）		当中間連結会計期間 （自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日）		前連結会計年度 要約連結損益計算書 （自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日）	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
I 売上高	50,103,260	100.0%	60,108,853	100.0%	95,719,052	100.0%
II 売上原価	43,162,735	86.1%	51,907,278	86.4%	82,425,953	86.1%
売上総利益	6,940,525	13.9%	8,201,575	13.6%	13,293,099	13.9%
返品調整引当金等	4,500		6,000		△ 11,200	
差引売上総利益	6,945,025	13.9%	8,207,575	13.7%	13,281,899	13.9%
III 販売費及び一般管理費	6,828,800	13.6%	8,149,351	13.6%	13,328,157	13.9%
営業利益	116,225	0.2%	58,224	0.1%	△ 46,258	0.1%
IV 営業外収益	372,913	0.7%	478,968	0.8%	704,342	0.7%
V 営業外費用	210,027	0.4%	276,715	0.5%	406,147	0.4%
経常利益	279,111	0.6%	260,477	0.4%	251,937	0.3%
VI 特別利益	350,075	0.7%	161,963	0.3%	355,867	0.4%
VII 特別損失	56,360	0.1%	202,115	0.3%	117,760	0.1%
税金等調整前当期純利益	572,826	1.1%	220,325	0.4%	490,044	0.5%
法人税等調整額	228,316		112,390		282,555	
当期純利益	344,510	0.7%	107,935	0.2%	207,489	0.2%

③株主資本等変動計算書（連結）

＜自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日＞

（単位：千円）

	株 主 資 本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成19年3月31日 残高	1,608,227	1,321,144	4,287,282	△ 13,097	7,203,556
連結会計期間中の変動額					
剰余金の配当			△ 98,149		△ 98,149
中間純利益			107,933		107,933
自己株式の取得				△ 1,214	△ 1,214
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額（純額）					
中間連結会計期間中の変動額合計	-	-	9,784	△ 1,214	8,570
平成19年9月30日 残高	1,608,227	1,321,144	4,297,066	△ 14,311	7,212,127

	評 価 ・ 換 算 差 額 等				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	評価・換算差額合計	
平成19年3月31日 残高	552,700	2,069	△ 15,034	539,734	7,743,291
連結会計期間中の変動額					
剰余金の配当					△ 98,149
中間純利益					107,933
自己株式の取得					△ 1,214
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額（純額）	△ 186,057	△ 293	△ 5,453	△ 191,804	△ 191,804
中間連結会計期間中の変動額合計	△ 186,057	△ 293	△ 5,453	△ 191,804	△ 183,234
平成19年9月30日 残高	366,643	1,775	△ 20,488	347,930	7,560,057

④貸借対照表（単体）

（単位：千円）

区 分	前中間会計期間末 （平成18年9月30日）		当中間会計期間末 （平成19年9月30日）		前会計年度 要約貸借対照表 （平成19年3月31日）	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
（資産の部）						
I 流動資産	18,557,680	56.1%	20,786,962	57.7%	19,024,334	56.7%
II 固定資産	14,526,055	43.9%	15,209,144	42.2%	14,520,491	43.3%
III 繰延資産	22,512	0.1%	23,348	0.1%	18,760	0.1%
資産合計	33,106,247	100.0%	36,019,454	100.0%	33,563,585	100.0%
（負債の部）						
I 流動負債	21,177,586	64.0%	25,389,092	70.5%	22,332,718	66.5%
II 固定負債	4,835,161	14.6%	3,792,122	10.5%	4,150,233	12.4%
負債合計	26,012,747	78.6%	26,181,214	81.0%	26,482,951	78.9%
（純資産の部）						
I 株主資本	6,517,589	19.7%	6,473,201	18.0%	6,525,495	19.4%
II 評価・換算差額等	575,909	1.7%	365,038	1.0%	555,138	1.7%
純資産合計	7,093,498	21.4%	6,838,239	19.0%	7,080,633	21.1%
負債純資産合計	33,106,247	100.0%	36,019,454	100.0%	33,563,585	100.0%

⑤損益計算書（単独）

（単位：千円）

	前中間会計期間 （自 平成18年4月1日 至 平成18年9月30日）		当中間会計期間 （自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日）		前事業年度 要約損益計算書 （自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日）	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
I 売上高	46,158,101	100.0%	52,427,758	100.0%	90,417,043	100.0%
II 売上原価	40,383,069	87.5%	45,980,953	87.7%	79,055,789	87.4%
売上総利益	5,775,032	12.5%	6,446,805	12.3%	11,361,254	12.6%
返品調整引当金等	△ 1,500		△ 4,000		800	
差引売上総利益	5,773,532	12.5%	6,442,805	12.3%	11,362,054	12.6%
III 販売費及び一般管理費	5,684,901	12.3%	6,359,965	12.1%	11,252,091	12.4%
営業利益	88,631	0.2%	82,840	0.2%	109,963	0.1%
IV 営業外収益	474,389	1.0%	423,681	0.8%	811,247	0.9%
V 営業外費用	195,513	0.4%	251,672	0.5%	391,577	0.4%
経常利益	367,507	0.8%	254,849	0.5%	529,633	0.6%
VI 特別利益	75	0.0%	20,403	0.0%	5,623	0.0%
VII 特別損失	92,410	0.2%	173,243	0.3%	130,223	0.1%
税金等調整前当期純利益	275,172	0.6%	102,009	0.2%	405,033	0.4%
法人税等調整額	20,626		54,940		140,393	
当期純利益	254,546	0.6%	47,069	0.1%	264,640	0.3%

③株主資本等変動計算書（単独）

＜自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日＞

（単位：千円）

	株 主 資 本									
	資本金	資本剰余金		利益剰余金				自己株式	株主資本合計	
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金					利益剰余金合計
					土地建物 圧縮積立金	別 途 積立金	繰越利益 剰余金			
平成19年3月31日 残高	1,608,227	1,321,144	1,321,144	212,875	485,870	2,525,000	385,475	3,609,220	△ 13,097	6,525,495
中間会計期間中の変動額										
剰余金の配当							△ 98,149	△ 98,149		△ 98,149
中間純利益							47,069	47,069		47,069
自己株式の取得									△ 1,214	△ 1,214
株主資本以外の項目の中間会計 期間中の変動額 （純額）										-
中間会計期間中の変動額合計	-	-	-	-	-	-	△ 51,080	△ 51,080	△ 1,214	△ 52,294
平成19年9月30日 残高	1,608,227	1,321,144	1,321,144	212,875	485,870	2,525,000	334,394	3,558,140	△ 14,311	6,473,201

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損 益	評価・換算 差額合計	
平成19年3月31日 残高	553,069	2,069	555,138	7,080,634
中間会計期間中の変動額				
剰余金の配当				△ 98,149
中間純利益				47,069
自己株式の取得				△ 1,214
株主資本以外の項目の中間会計 期間中の変動額 （純額）	△ 189,807	△ 293	△ 190,100	△ 190,100
中間会計期間中の変動額合計	△ 189,807	△ 293	△ 190,100	△ 242,394
平成19年9月30日 残高	363,262	1,775	365,038	6,838,239